

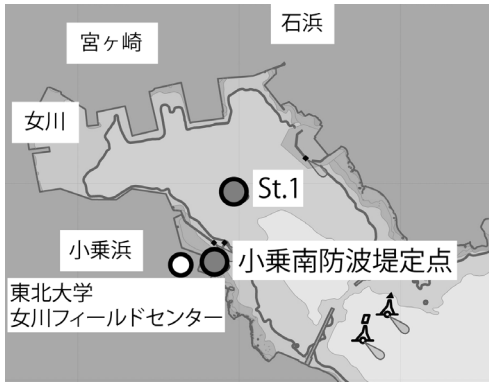
## 週刊 女川湾海況速報 (No.51)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

7 月 8 日から 12 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

### 観測点



### 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は表層（0m）で下降し、底層（5m）では上昇。塩分は表層で下降し、底層では同程度の値を維持。経時的には 9 日以前に全層で低温・高塩であったが、11 日以降は表層で特に塩分が低く 32 以下を示した。9 日以前の低温・高塩な海水は外洋水、11 日以降の表層の塩分下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	7月8日 (月)	7月9日 (火)	7月10日 (水)	7月11日 (木)	7月12日 (金)
0	15.5 (33.4)	15.5 (33.5)	18.0 (32.8)	18.6 (31.5)	18.4 (28.8)
5	14.3 (33.4)	13.6 (33.2)	16.7 (33.0)	15.3 (32.8)	16.4 (32.9)

水温の単位は℃。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 10 日以降に全層で上昇傾向。特に 12 日に表層で顕著に上昇し、期間を通じての最大(0.8FTU)を示した。(単位は FTU)

水深 [m]	7月8日 (月)	7月9日 (火)	7月10日 (水)	7月11日 (木)	7月12日 (金)
0	0.4	0.2	0.2	0.3	0.8
5	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6

③溶存酸素：先々週と比較して全層で上昇し、8~9mg/l 台を示した。経時的には 9 日と 11 日に表層で下降。表層と同様に底層でも 9 日と 11 日は下降したが、12 日にはさらに下降。

水深 [m]	7月8日 (月)	7月9日 (火)	7月10日 (水)	7月11日 (木)	7月12日 (金)
0	9.1	8.8	9.2	8.6	9.0
5	9.0	8.7	9.1	8.9	8.8

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

### St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 11.9~17.6℃、32.5~33.7 の範囲にあり、底層（19m）には外洋水と推定される塩分 33.7 以上の高塩分水が存在。濁度は 0.2~2.0FTU の範囲にあり、底層で最大。溶存酸素は 8.0~9.5mg/l の範囲にあり、底層で最小。

7 月 10 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	17.6	32.5	0.4	9.4
5	16.6	32.9	0.2	9.5
10	14.6	33.3	0.4	8.8
15	12.2	33.6	1.5	8.1
19	11.9	33.7	2.0	8.0

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。